

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
上天草市	阿村地区(阿村干拓地域活動組織)	令和4年1月27日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	1,779a	/耕地面積
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	1,754a	99%
③地区内における70歳以上の農業者の耕作面積の合計	458a	26%
i うち後継者未定又は不明の農業者の耕作面積の合計	343a	19%
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	1,411a	79%
(備考)		

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・後継者がいない ・農業従事者の高齢化 ・農業用機械の維持管理 ・排水路及び農道の整備 ・鴨による食害

注:「課題」欄には、「現状」を基に話し合いを通じて提示された課題を記載してください。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>地区内には認定農業者はいないが、地域活動組織に農地所有者の大半が加入しており、共同で地域内の農地を耕作していることから今後新たに入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。</p>
--

中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状	今後の農地の引受けの意向
計	10 経営体	1,411 a	1,411 a

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<p>○<u>農地の貸付け等の意向</u> 貸付けの意向が確認された農地は、13筆、33,443㎡となっている。</p>
<p>○<u>農地中間管理機構の活用方針</u> 中心経営体が病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になった場合には、農地中間管理機構を通じて貸付を進めていく。</p>
<p>○<u>鳥獣被害防止対策の取組方針</u> 多面的機能支払事業や市の補助等を活用し、鳥獣害対策(侵入防止策等の設置)や捕獲体制の構築等に取り組む。</p>
<p>○<u>基盤整備事業の必要性</u> 道路や排水といった農地の条件が悪く、農業従事者及び後継者がいない。また、本地域では耕作できる作物が限られており条件が悪いため他地域から農業者を取り込むことができていない。耕作しやすい環境整備を図り、新規参入により後継者不足を解消するために基盤整備が必要。</p>